

2012年2月24日

公益財団法人損保ジャパン記念財団
株式会社損害保険ジャパン

平成23年度「損保ジャパン記念財団賞」受賞文献の決定

公益財団法人損保ジャパン記念財団（以下「損保ジャパン記念財団」、理事長 佐藤正敏）は、社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する平成23年度「損保ジャパン記念財団賞」受賞文献を決定しました。詳細は以下のとおりです。

1. 受賞文献

- ◆著書部門 : 『ボランティア』の誕生と終焉-〈贈与のパラドックス〉の知識社会学
著者 仁平典宏氏（法政大学社会学部 准教授）
出版 財団法人 名古屋大学出版会 2011年2月発行
- ◆論文部門 : 該当なし

2. 「損保ジャパン記念財団賞」について

本賞は、日本における優れた社会福祉学術文献について、著書部門と論文部門を表彰する制度です。1999年に設立され、今年度で13回目となります。同賞が、社会福祉学の学問的探求を目指す方の研究意欲の促進につながり、その研究成果が日本の社会福祉の発展に大きく寄与することを目的としています。

過去の受賞者（要旨）についてはこちらをご覧ください。

http://www.sj-foundation.org/katsudou/hyousyou_list.html

3. 贈呈式、講演会について

2012年3月22日に損保ジャパン本社ビル（東京都新宿区）において贈呈式を開催します。受賞者には、賞状・記念品と副賞（研究・出版費100万円）が贈られます。また、2012年7月1日には、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において受賞者による講演会を開催する予定です。

※ 損保ジャパン記念財団は、1977年10月1日、安田火災海上保険株式会社（現：株式会社損害保険ジャパン）の出捐により、同社の社会貢献活動の一翼を担うものとして設立されました。損保ジャパン記念財団の主な活動には、本件のほか、社会福祉団体に対するNPO法人設立資金助成、自動車購入費助成、および社会福祉・社会保険・損害保険に関する研究助成や研究会、講演会の開催などがあります。

以上